

3

むらはず ちい いえ おんな こ かあ
村外れの小さな家に、かわいい女の子が、お母さんと
ふたり す
二人で住んでいました。

おんな こ あか
女の子はいつも赤いずきんをかぶっていたので、『赤ず
きんちゃん』とよ
呼ばれていました。

ひ あか
その日、赤ずきんちゃんは、ひとり びょうき
一人で病気のおばあさんの
みま で
お見舞いに出かけました。

かあ や も しゅっぱつ
お母さんの焼いてくれたクッキーを持って、さあ出発で
す。

「それじゃあお母さん、行ってきまーす」

「オオカミには気をつけるんですよ。人をだましたりしま
すからね」

「はい！」

あか かあ げんき へんじ
赤ずきんちゃんはお母さんに、元気よく返事をしまし
た。



5

おばあさんの^{いえ}家は、^{もり}森の^{おく}ずっと奥にありました。

^{あか}赤ずきんちゃんはスキップをしながら、^{もり}森の^{こみち}小道を^{すす}進んで行きました。

そのまましばらく行くと、^{あか}赤ずきんちゃんは、きれいな^{はな}花がたくさん咲いている、^{はなばたけ}花畑にやってきました。

「まあ、きれいな^{はな}お花。おばあさんへのプレゼントにしましょう！」

^{あか}赤ずきんちゃんが、^{はなばたけ}花畑に^か駆け^よ寄りろうとしたその^{とき}時、^{とつぜん}突然目の^め前に、^{まへ}一匹の^{いっぴき}オオカミが^{あらわ}現れました。



2 5

In a small house on the skirts of a village,
a cute girl and her mother lived together.

The girl always wore a red riding cloak, and so she
was called Little Red Riding Hood.

One day, Little Red Riding Hood left the house to
visit her grandmother who was sick and lived alone.

She brought cookies her mother baked to give
them to her grandmother.

“Hey Mum, I am leaving now.”

“Be careful with wolves; they can fool people.”

“Yes, I will be careful!”

Little Red Riding Hood responded to her mother
cheerfully.



27

Her grandmother's house was located in a deep, deep forest.

Little Red Riding Hood skipped through a narrow path in the forest.

After skipping for a while, she came to an open field where there laid a beautiful field of bloomed flowers.

"Wow, what a pretty flower. I should pick this for my grandmother!"

As she skipped to the flower patch, suddenly, a wolf appeared in front of her.

